令和7年度第8回 太田市1%まちづくり会議 議事概要

会議の名称	令和7年度第8回1%まちづくり会議
開催日時	令和7年10月30日(木) 18:00~18:45
開催場所	太田市役所 5階 5A 会議室
出席委員	1%まちづくり会議 佐藤 広大 委員長 他10名
(代表氏名)	1%まちづくり会議 佐藤 広大 委員長 他10名

1. 開会

2. 挨拶

佐藤委員長より挨拶

3. 協議事項

(1) 採択基準の見直しについて

委員長:前回の結果を踏まえ修正された事務局案について、事務局より説明があったが、いかがか。承認いただけるか否か、決を採りたい。

「通信費」

委員長より採決が諮られ、承認された。特に意見無し。

「備品購入費」

委員長より採決が諮られ、承認された。

委員:夏祭りで買うものは備品購入費に含まれるのか。別なのか。

事務局:前回の会議でも承認されているが、お祭関係備品は対象外となっている。

委員:備品台帳は書式があるか。

委員:ガチガチにしないで品名・購入日・金額を書いていけばいいと思う。耐用年数があるから、いつ買って何年経ったのかがわかりやすくなる。書式は各々でやりやすいようにというのがよろしいかな。

「お祭り等の規模と基準」

委員長より採決が諮られ、承認された。特に意見無し。

「伝統民俗芸能」

委員長より採決が諮られ、承認された。

委員:「神輿・山車」は対象外とあるが、神社だけでなく仏教とか他の宗教の申請が来るかもしれないから、「神輿・山車等」にしたほうがいい。

委員:「お祭り等の規模と基準」のところは「神輿・山車等」になっているから、統一させればいい。 委員長:では、「等」を入れるということで。

委員:業者委託の会場設営・使用料及び賃借料は50%以内になっている。太田まつりや世良田祇園などは、多額の寄付金をもらっているから50%の補助で運営できる。単独行政区は、そんなに寄付金をもらえない。寄付をもらえるところともらえないところが出てくるから、不公平になる。だから、まつりの会場設営について、例えば1回当たり上限30万円までは認めるとかにしていかないと、不公平が出る。

委員長:同じ50%負担になっているので、公平だと思う。

委員: 寄付が集まるかという話。規模が小さいので集まらない。 集まるところと集まらないところがあるので、それはちょっと不公平と言ってる。

委員:自分の区で努力すればいい。50%の補助は出るので。

委員:これまでのまつりの予算書を見ていると、足りない分は区から出すとか、協賛金を得るとか、 みんな今までやっている。でも協賛金はそんな集まらない。だから、集まった予算で、じゃあ、 区のほうで幾ら出すとか、会社回りして提供してもらうとか。テントも住民にやってもらう。

委員:もう年寄りで、えらい労力なので、簡単なものにしていけば、みんな参加しやすいしやりや すいんじゃないか。

委員:もっともだと思うが、うちも実際に祭りをやってきて、金がない中で、1%事業を要求したが、 昔は単独行政区の開催は対象外ということで、受けられなかった。あとは努力。みんなの努力 で金集めるんだったら金集める。やっぱり、やるんだったらやるという形にしないと。

委員:規模を縮小するなり、自分たちの努力でやるしかない話。だからそれは事業計画を立てて、それをやりましょうというときに、どういう形でやりましょうかというのは、その時点で決める話であって、金がないから全部くれよというのは、それは間違った話だと思う。やっぱりそれを補助事業の中でやっていく。私の区は、補助事業は対象外ということで認められなかったので、一生懸命金集めをした。自分たちの努力で。今は年寄りばかりになってしまい、30年続いたが、コロナの影響もあり今は停止してる状態。そんな状況だから、50%いただければ、御の字かなと思う。その中で何とか頑張ってやる。それでいいのかなと思う。

副委員長:できる範囲で、身の丈に合ったものでないと継続できないのが事実だと思う。あまり広 げすぎても。

委員:私はそこの祭りに来賓で行ったことあるが、立派ですよ。あれだけのことができるんだから、 大丈夫ですよ。

(2)その他

成果発表会について

事務局:お配りした次第案の通りに進めたい。今回初めて、質疑応答の時間を設けた。今日は、司会などの役割を決めていただきたい。12月3日の午前中にリハーサルを行うので、会場や発表内容をご覧いただいたり、練習していただくことも可能。役割としては、挨拶を委員長、開会の言葉を副委員長にお願いし、司会は例年2名にお願いしているが、1名の時もある。あとは閉会を1名。他の委員には受付や資料配布などのお手伝いをお願いしたい。発表会当日欠席の方2人を除き、役割を決めていただきたい。

委員長:まず司会はいかがでしょうか。

委員:質疑応答の指名も司会がやるのか。

事務局:司会の方にお願いしたい。近くに職員も控えているので、終了のタイミングなどフォローさせていただく。時間は全体で 10 分程度を想定している。質疑応答のときは、団体の代表者にステージへ上がっていただくように考えている。

委員:私でよろしければ。

委員長:ありがとうございます。もう1名は。

委員:発表会の経験ある方のほうがよいと思う。

副委員長:前にご経験のある委員さん、お願いします。

委員: 閉会は誰もいないのであれば司会が締めてもいいと思う。もしやるのであれば前委員長に お願いするとか。

委員長:前委員長、いかがでしょうか。よろしくお願いいたします。

挨拶:佐藤委員長

開会:笹木副委員長

司会:中村委員·松本委員

閉会:小此木委員 に決定

委員長: 11 月 9 日の現地視察のあと、昼食を皆さん一緒にいかがでしょうかということで、計画している。人数がわからないと場所を押さえられないので、出席いただける方はご連絡いただけるとありがたい。11 月 9 日は都合が悪い方もいると思うので日にちを改めてもいいと考えているが、とりあえず 9 日に行ける方は、連絡をよろしくお願いします。

副委員長:会議だけではやはり交流が及ばない部分もあるので、ぜひご参加いただければと思う。

4. 閉会